



感謝の気持ちを"力"に換えて！

2020 年度 第 49 回 日本リトルシニア関西連盟 日本選手権中国大会

と き／ 令和 2 年 7 月 1 1 日 (土) ～

ところ／ 東広島アクアスタジアム ほか



主 催／ 一般財団法人 日本リトルシニア中学硬式野球協会 関西連盟 中国支部

協 賛／ 株式会社ハークスレイ(ほっかほっか亭中国各店舗)、ゼット株式会社、ミズノ株式会社、株式会社エスエスケイ、アシックスジャパン株式会社、株式会社ドーム、株式会社体育社、サントリーフーズ株式会社、松本映像研究所(マツプロ)

後 援／ 公益財団法人日本野球連盟中国地区連盟(JABA 広島県野球連盟)

・JR西日本硬式野球部・三菱重工広島硬式野球部・MSH医療専門学校硬式野球部
・広島鯉城クラブ・伯和ビクトリーズ・ツネイシブルーパイレーツ
・JFE西日本硬式野球部・福山ローズファイターズ・三原ヤッサベースボールクラブ

2020 年度 ミズノ杯・大阪広域生コン杯

第 49 回日本リトルシニア日本選手権関西連盟中国大会

大会要綱

主 催	一般財団法人 日本リトルシニア中学硬式野球協会 関西連盟中国支部
協 賛	株式会社ハークスレイ（ほっかほっか亭中国各店舗） サントリーフーズ株式会社
後 援	公益財団法人日本野球連盟中国地区連盟（JABA 広島県野球連盟）
期 日	令和 2 年 7 月 1 1 日（土）～7 月 2 5 日（土）
予 備 日	7 月 1 2 日（日）、7 月 1 9 日（日）、7 月 2 4 日（金祝）、7 月 2 6 日（日）
場 所	東広島アクアスタジアム、しまなみ球場、岩国きずなスタジアム、ミットヨスポーツパーク、 ほか各チーム専用球場
競 技 方 法	代表決定トーナメント戦（三位決定戦を行う） 関西連盟大会規定を採用する。（一部、大会特別規定を採用）
大 会 副 賞	【日本選手権・中国四国代表決定戦の出場権獲得】 本大会の優勝チームは、中国支部代表として、四国ブロックの優勝チームと日本選手権出場権をかけて代表決定戦を行う。
開 会 式	ありません
監督審判会議	ありません
閉 会 式	期：令和 2 年 7 月 2 5 日（土）：決勝戦終了後（14：00 予定） 於：ミットヨスポーツパーク
参加チーム	日本リトルシニア関西連盟 中国支部加盟リーグ：18 チーム

抽 選 会	とき：令和 2 年 5 月 2 4 日（日） 於：広島市東区民文化センター：小会議室
参 加 費	大会規定額を納入（期日までに中国支部の口座に振込）
試 合 球	ミズノ（シニアリーグ公認球）試合ごとに 4 球 ※最初の一箱のみ関西連盟より一括購入
審 判 員	● 一回戦～準決勝：本部審判員 2 名、父兄審判員 2 名（各チームから 1 名派遣） ※父兄審判員については、審判部が発行する審判カード所持者に限る。 ● 決勝戦（三位決定戦）：本部審判員 4 名（各チームからの派遣なし）
審 判 弁 当	派遣人数分支給（各チーム：1 日 1 個まで）
参 加 要 件	1. 本大会に出場できる選手は、日本リトルシニア中学硬式野球協会が発行する選手登録証所持者（コピー不可）且つ、大会登録書（要：関西連盟承認印）に記載された選手のみ、ベンチ入りを許可する。 2. 1 チームの最低人数は 9 名以上 25 名未満で編成するものとし、背番号は 1～25 番までとする。なお、大会中の選手の入れ替えや背番号変更は一切認めない。 3. 最低人数に満たないチームは応援または合同チームでの参加を認める。（合同等チームの場合、各チームのユニフォーム着用は認めるが、背番号は重複しないこと） 4. 専用球場を保有するチームは、当該試合の有無に関わらず、本大会の試合会場として協力できること。 5. 本大会に参加するチームは、協賛弁当（@600 円）の注文に協力すること。

競技要項（大会特別規定）

- 第1項 ベンチは若番が一塁側、ロージンは後攻チーム、ボールボーイは両チーム2名とする。（ボールボーイは原則ベンチ入り選手とする）
- 第2項 各球場のグラウンドルールは、試合開始前に各会場の審判員により説明を行う。
- 第3項 本大会は代表決定トーナメント戦を採用し、三位決定戦も行う。（代表決定トーナメント戦の競技詳細については別添参照）
- 第4項 試合は7回または2時間制とし、5回をもって試合成立とする。（5回までは2時間超えても試合を行う）なお、試合成立後の延長戦は行わず、即タイブレイク（最大3回：1アウト満塁）を行い、なお同点の場合は最終出場メンバー（18名）による抽選にて勝敗を決定する。（但し決勝戦は除く）
- 第5項 5回以降7点差および4回以降10点差をもってコールドゲームとする。（但し決勝戦は除く）
- 第6項 メンバー交換は前試合4回終了後、大会本部が指定する場所にて、監督・代表選手1名が集合し、所定のメンバー表（5部）を提出し、担当審判員並びに本部役員立ち会いのもと、先攻後攻を決定する。
- 第7項 試合前のシートノックは7分間とし、ノック時のボールボーイは必ずヘルメットを着用する。なお、天候によってはサイドノックに変更する場合もある。（原則、各補助員は登録選手に限る）
- 第8項 試合前のアップはフィールド内を使用しないこと。但し、外野フィールドにおいてはアップシューズ着用に関し、アップやキャッチボールを認める。（ノックやトスバッティングは禁止）
- 第9項 次試合チームの先発バッテリー1組に関し、メンバー表交換後、ブルペンに入って投球練習を行うことが出来る。（但し、ブルペン入場は、試合進行を妨げないよう細心の注意を払うこと）
- 第10項 ブルペン捕手は、スタンディングの場合であっても必ず防具を着用（特にキャッチ面）し、捕手の安全を守る保護選手を1名帯同させること。（保護選手も必ずヘルメットを着用すること）
- 第11項 監督指示により捕手がタイムを取る行為はタイムカウントとして数えないが、遅延行為など試合進行に支障があると判断した場合は、1回のみ警告を行い、2回目からはタイムとしてカウントする。

その他の注意事項

- 各チームは、会場到着後、速やかに大会運営本部が指定する受付手続きを行うこと。
- 各チームは、当日の試合が全て終了し、会場を退出する際は、大会運営本部が指定する退場手続きを行い、「次回指示書」を受け取ること。
- 各チームの放送係は、第1試合の試合開始40分前までに必ず名札を付けて待機しておくこと。
- 審判へのお茶出しのアナウンスは行わない。（4回終了後のメンバー表交換のアナウンスは行う）
- 試合成績表の記録者は、名札を付け予備球を持って記録室に入室のこと。
- 各チーム応援団は、鳴り物やメガホン2本を叩いたり、球場器物を叩いての応援を禁止する。
- 本大会は関西連盟が指定するソーシャルディスタンスに定められた規程を遵守すること。

代表決定トーナメント戦における競技要項の詳細

日本選手権中国大会（代表決定トーナメント戦）の競技要項詳細については、下表のとおり行う。

	準決勝まで（三位決定戦）	決勝戦（代表決定戦）
試合成立	5回完了	
正式試合	7回	
投球回数制限	あり（上限到達選手は、捕手への交代も制限）	
時間制	あり（2時間制）	なし（時間無制限）
コールド	あり（4回：10点差、5回以降：7点差）	なし（棄権の場合はコールド適用）
延長戦	なし	あり（最大9回裏まで）
タイブレイク	あり（最大3イニング）	あり（決着がつくまで）
抽選決着	あり（タイブレイク後、同点の場合）	なし
審判	球審・二塁：本部、一塁・三塁：各チーム	全審：中国支部審判部
禁止事項	一日4試合、一日ダブルヘッダー、ナイターゲーム ※全て原則	

上表の詳解については下記のとおり。

【決勝戦までの適用について】

試合成立ならびに正式試合

試合は7イニングまで行い、時間制を採用する。試合開始から2時間を超えて新しいイニングには入らない。

※ 但し、以下の場合は例外とする。

- 1 試合成立（5回完了）までは、2時間を超えても試合を行います。
- 2 後攻チームがリードしたまま攻撃中に2時間が経過した場合は、その時点で試合を打ち切ります。

コールドゲーム

4回10点差 または 5回以降7点差。（大会中に棄権した場合は、7-0の5回コールド負けとする）

タイブレイク

試合開始から2時間または7回を終了し、同点の場合は次の回から最大3回のタイブレイク戦に入ります。

！重要！ タイブレイク戦に入った時点でタイムカウントは止まります（時間制の適用外）

- ・ **タイブレイク戦**は正式試合終了後、**同点の場合は必ず適用**します。（2時間を超えていても必ず実施）
例：5回終了後、2時間を経過し同点の場合は、6回から最大3回タイブレイク戦を行う。
6回終了後、2時間を経過し同点の場合は、7回から最大3回タイブレイク戦を行う。
7回終了後、同点の場合は、8回から最大3回タイブレイク戦を行う。
- ・ タイブレイク戦を行っている途中に**2時間を経過しても、途中で打ち切りません。**
- ・ 最大3イニングのタイブレイク戦を戦い、**それでも同点の場合は両チームの最終メンバー9名ずつにて勝敗抽選等を行う。**

【決勝戦の適用について】

試合成立ならびに正式試合

- ・ 試合は7イニングまで行い、**時間制を採用しません**。（7回までは時間無制限）
- ・ ※但し、**試合の成立は5回**となります。（野球規則：競技に関する連盟特別規則（少年部・学童部） p022 の1による）

コールドゲーム

コールドゲームは**採用しません**。（但し、大会中に棄権した場合は、7-0の5回コールド負けとする）

延長戦

- ・ 7回終了し、同点の場合は**最大9回裏まで延長戦を行います**。

タイブレイク

- ・ 9回裏までの延長戦を行い、同点の場合は10回表より、**勝敗の決着がつくまでタイブレイク戦を行います**。

サスペンデットゲーム（特別継続試合）について

降雨及び日没などにより、試合の途中で中止された場合、特別継続試合を適用します。

適用するケース

- ・ 試合が成立する前（5回完了する前）に中止になった場合。
- ・ 試合成立後、7回を完了するまでに、残り時間がある場合。

特別継続試合のルール

- ① 中止となった元の状態から継続するため、**元の試合で交代した選手は出場できない**。
- ② 監督・コーチの交代は認めるが、試合前に大会本部へ変更メンバー表を提出すること。
- ③ **投手の投球回数制限はそのまま生きる（リセットされない）**
- ④ 残り時間は元の試合の経過時間から引き継ぎ、合算で2時間とする。
- ⑤ 特別継続試合の日時、球場、審判員はリーグ役員にて決定する。

注1）特別継続試合は、原則として、**翌日の第一試合**に割り当てられます。

注2）**試合成立後（5回終了後）に中止となった場合は、リードしているチームが勝利となり、特別継続試合は適用されません**。

注3）試合成立後（5回終了後）同点で試合が中止の場合は特別継続試合を適用します。

※タイブレイク中に、中止となった場合は、特別継続試合は適用されず、両チームの最終メンバー9名ずつにて勝敗抽選を行う。（タイブレイクの再試合は行わない）

注4）試合中止の判断は、審判員、大会役員、球場責任者の協議判断によるものであり、当該チームが意見を申し出ることとはできない。（日没の場合も含む）

大会役員

大会本部

大会会長	関西連盟常務理事	中国支部	支部長	高木 博仁
大会副会長	関西連盟理事	中国支部	副支部長	山之内 正弘
事務局長	関西連盟常務理事	中国支部	事務局長	梅木 恭弘
会計部長	関西連盟理事	中国支部	財務部長	高橋 義寿
厚生部長	関西連盟理事	中国支部	厚生部長	泗水 智香子
競技部長	関西連盟理事	中国支部	競技部長	南場 浩治
参与	関西連盟監事	中国支部	相談役	亀川 英司
運営役員	関西連盟	中国支部	リーグ運営本部長	弘中 浩二

審判部

大会審判長	中国支部	審判部	審判部長	南場 浩治
副審判長	中国支部	審判部	副審判長	丸山 久生、櫻井 俊郎
審判事務局長	中国支部	審判部	副審判長	丸山 久生
〃	中国支部	審判部	技術指導部長	弘中 淳彦
西部リーグ審判長	北部リーグ審判長		南部リーグ審判長	東部リーグ審判長
伊藤 彰	櫻井 俊郎		丸山 久生	西名 二郎
古川 裕宗	西下 直樹		弘中 淳彦	古賀 政喜
村崎 一生	小笠原 健斗		野間 雅勝	高橋 義彦
小田 明	佐々木 浩		石田 篤史	馬場 圭一

閉会式（認定式） 次第

成績発表	大会参与	亀川 英司
表彰式	団体表彰	優勝： 準優勝： 第三位： 第四位：
	個人賞表彰	最優秀選手賞： 優秀選手賞： 敢闘賞（2名）：
大会会長挨拶	大会会長	高木 博仁
国旗、市旗、連盟旗 降納		
閉会宣言	大会副会長	山之内 正弘
選手退場		